

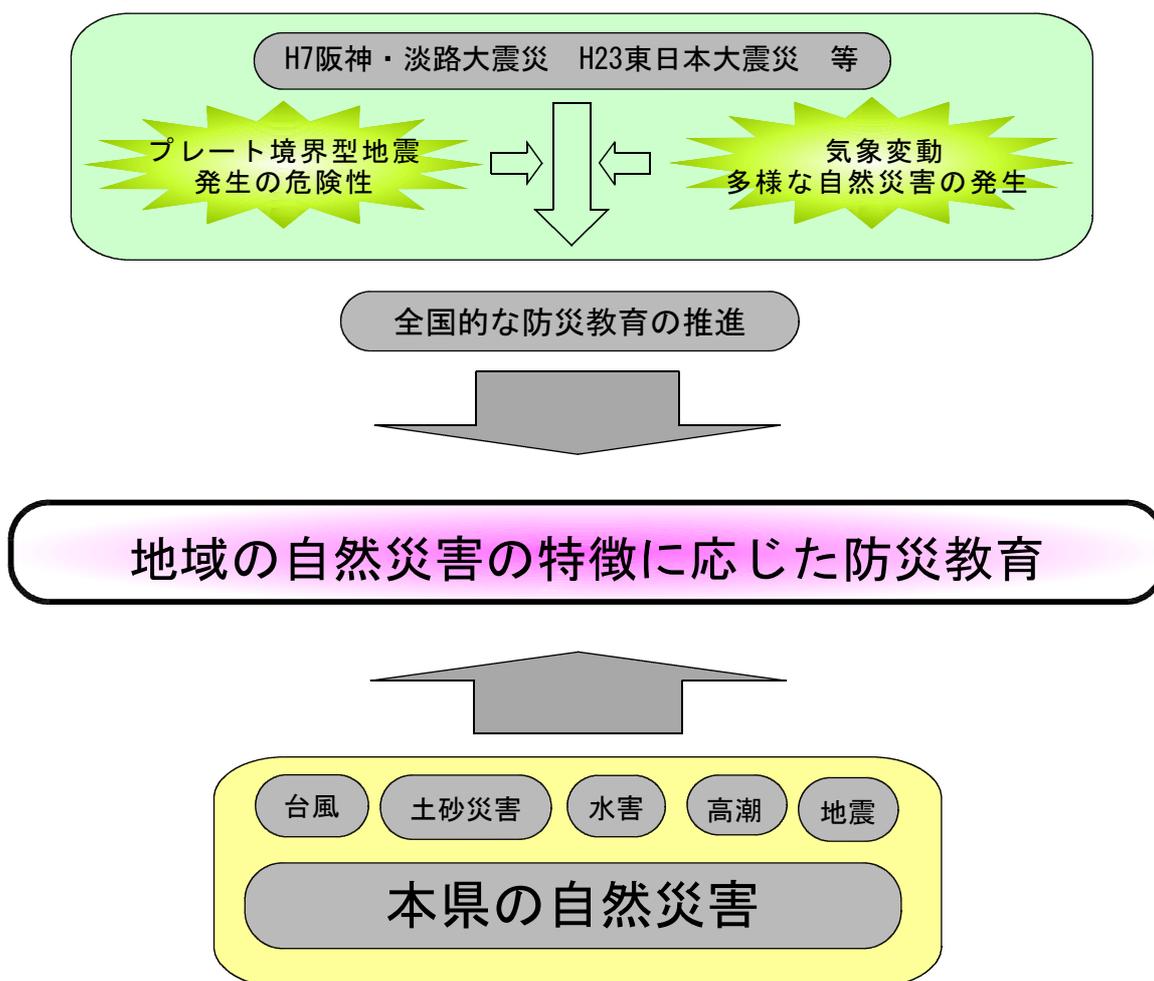
II 本県における防災教育

1 地域の特徴に応じた防災教育の必要性

平成7年の阪神・淡路大震災以降、全国的に地震災害が相次ぎ、近い将来、プレート境界型地震である東海・東南海・南海地震が起こる可能性も高いといわれています。そのような中、平成23年3月には東日本大震災が発生し、これまでの想定をはるかに超えた巨大地震・津波によって甚大な被害をもたらしました。さらには、近年の気象変動による集中豪雨や突風などの災害も増加しています。

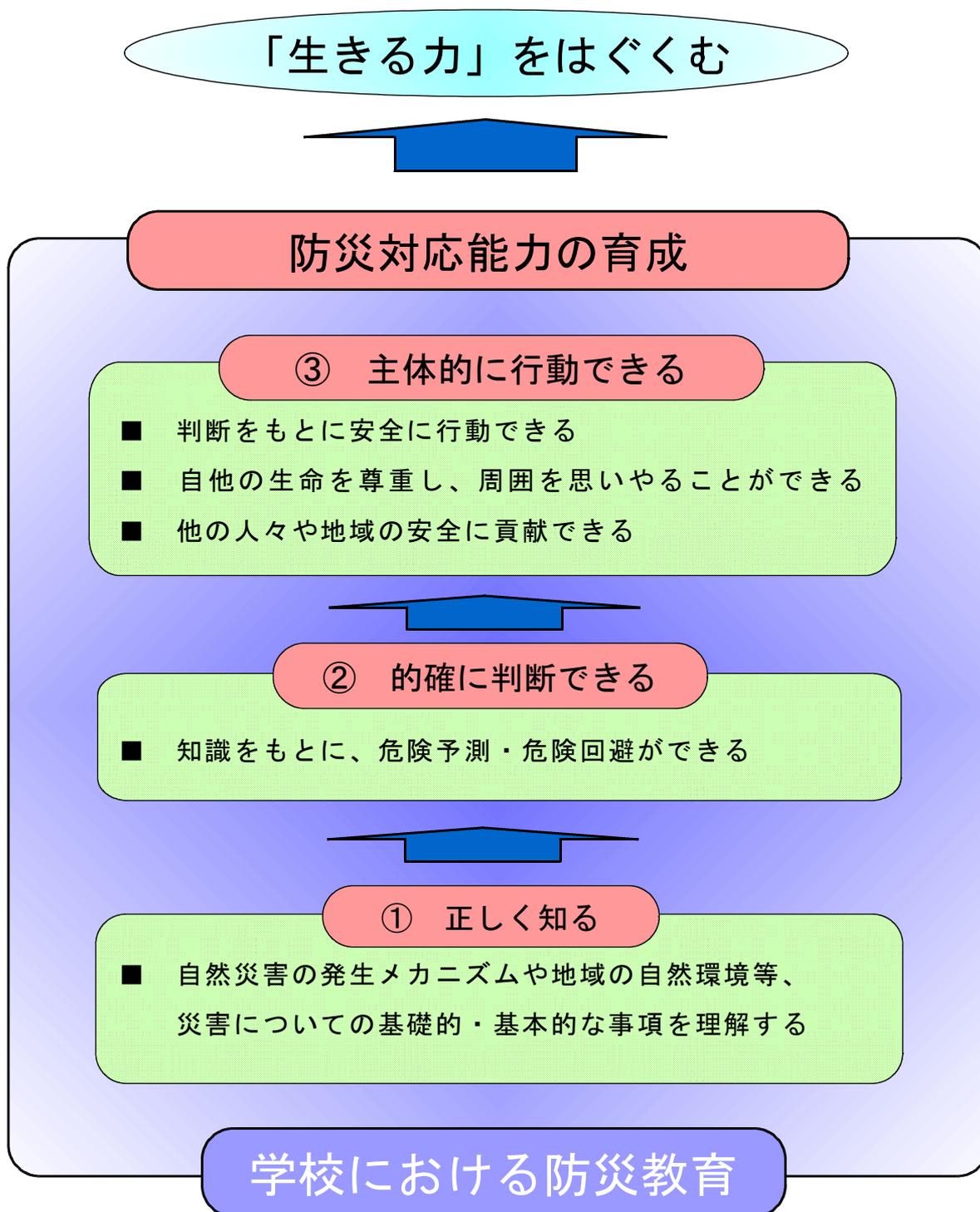
本県でも、平成17年の岩国市錦川の氾濫による大規模水害や平成21年の防府市を中心とした大規模土砂災害など、毎年のように風水害や土砂災害が発生しています。また、活断層の存在と地震被害発生の可能性も指摘されています。

文部科学省による東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議においても、防災教育を効果的に推進するためには、普段生活する地域の特性を踏まえた教材等の開発、活用が必要であるとされており、各地域の自然災害の特徴に応じた防災教育の一層の充実を図る必要があります。



2 防災教育の目的

学校における防災教育は、「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育の一環として、児童等が地震等の災害に直面したとき、災害に対する正しい知識・技能をもとに、的確に状況を判断し、自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できるよう「防災対応能力」を育成することをねらいとしています。



3 発達段階に応じた防災教育の目標と指導内容

前述の3つの目的を達成するため、学校においては、学習指導要領に基づき、各教科、道徳、特別活動等、教育活動全体を通して体系的に防災教育を推進していきます。

ここでは、発達段階に応じた防災教育の目標と主な指導内容等を紹介します。

幼稚園 → 小学校 → 中学校 → 高等学校

安全社会の形成
自己の安全確保

幼稚園

(目標) 教員や保護者の指示に従って行動できる。

(指導内容例)

【健康】 危険な場所、危険な遊び方、災害などの行動の仕方

【人間関係】 友達と積極的に関わり、喜びや悲しみを共感し合う

(実践例・展開例)

【健康】 「地震がきたらダンゴムシ」(P51)

小学校低学年

(目標) 教員や保護者など、近くの大人の指示に従うなど適切な行動ができる。

(指導内容例)

【生活】 安全な登下校・地域での安全な生活

【道徳】 健康や安全に気を付け、生命を大切にする

(実践例・展開例)

【学校行事】 「親子で体験する水難防災活動」(P15)

「地域総合防災訓練への参加」(P21)

小学校中学年

(目標) 災害の時に起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動ができる。

(指導内容例)

【社会】 地域社会における災害及び事故の防止

【道徳】 生活を支えている人々や高齢者への尊敬と感謝

(実践例・展開例)

【社会】 「風水害から暮らしを守る」(P53)

(目標) 日常生活の様々な場面で発生する災害の危険について知り、安全な行動ができるようにする。自分の安全だけでなく他の人々の安全についても考えることができるようにする。

(指導内容例)

- 【社会】 森林資源の働き及び自然災害の防止・我が国の政治の働き
- 【理科】 流水の働き・天気の変化・土地のつくりと変化
- 【体育】 けがの防止と病気の予防
- 【道徳】 人々の支え合いや助け合いへの感謝・郷土や国を愛する心
- 【特別活動】 (学級活動) 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
(児童会活動) 学校生活の充実と向上
(学校行事) 勤労生産・奉仕的行事への参加

(実践例・展開例)

- 【道徳】 「先人に学ぶ心の教育～命を救った稲村の火～」 (P17)
- 【総合】 「防災センターを活用して学ぶ防災対策」 (P19)
- 【理科】 「台風の特徴を知り、台風対策について話し合おう」 (P54)
- 【道徳】 「震災時の日本人の行動について考える (主題名:公德心)」 (P55)

(目標) 小学校での理解を更に深め、応急処置の技能を身に付けるとともに、防災への日常の備えや的確な避難行動ができるようにする。学校、地域の防災活動やボランティア活動の大切さについて理解を深める。

(指導内容例)

- 【社会】 自然災害と防災への努力、自然災害に応じた防災対策
- 【理科】 大地の成り立ちと変化、気象とその変化、自然と人間
- 【保健体育】 心身の機能の発達と心の健康、健康と環境、傷害の防止
- 【道徳】 温かい人間愛の精神、自他の生命の尊重、地域の一員としての自覚
- 【特別活動】 (学級活動) ボランティア活動の意義の理解と参加
(生徒会活動) 学校生活の充実と向上
(学校行事) 勤労精算・奉仕的行事への参加

(実践例・展開例)

- 【社会】 「防災マップを活用した身近な地域の調査学習」 (P27)
「日本の自然環境の特徴と自然災害」 (P57)
- 【理科】 『『地震のメカニズムや被害防止』を加味する理科学習』 (P29)
「ICT機器を利用した地震防災学習」 (P31)
「地域の自然の特徴を調べ、防災対策について話し合おう」 (P58)
- 【学校行事】 「緊急地震速報を利用した避難訓練」 (P47)
- 【道徳】 「震災時の情報の扱いについて考える (主題名:社会の秩序)」 (P59)

高等学校

(目標) 自らの安全確保はもとより、友人や家族、地域社会の人々の安全にも貢献しようとする態度や応急処置の技能等を身に付け、地域の防災活動や災害時のボランティア活動にも積極的に参加できるようにする。

(指導内容例)

- 【地理A】生活圏の諸課題の地理的考察
- 【理科(科学と人間生活)】身近な自然景観と自然災害
- 【理科(地学基礎)】変動する地球
- 【理科(地学)】地球の概観・地球の活動と歴史・地球の大気と海洋
- 【保健体育】現代社会と健康

(実践例・展開例)

- 【地理A】「地域にある断層・土砂災害危険箇所の防災巡検」(P33)
- 【地学I】「自然災害をより実感させる地形判読・野外調査」(P35)
- 【課題研究】「木造住宅の耐震診断」(P37)
- 【地理A】「我が国の自然環境と身近な地域の防災」(P61)
- 【倫理】「地震発生時の人間の行動と心理」(P62)
- 【地学I】「火山活動と火山災害についての理解を深めよう」(P63)
- 【地学II】「気象に関する情報を収集し、生活に生かそう」(P64)

特別支援学校

(目標) 幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準ずるとともに、児童等の障害の状態、発達段階、特性及び地域の実態等に応じて各学校で重点目標を設定する。

(実践例・展開例)

- 【生活単元学習】「体験型防災センターにおける防災学習」(P39)
- 【社会・理科】「地震に対する防災意識を高める合科学習」(P41)
- 【社会】「通学路での風水害に対する意識を高める学習」(P43)
- 【学校行事】「防災の専門家による地震防災授業」(P45)
- 【生活単元学習】「災害から命を守ろう」(P65)
- 【学校行事】「目標をもって避難訓練をしよう」(P66)

総合的な学習の時間を活用した「防災教育プログラム」

横断的、総合的な課題や、地域や学校の特色に応じた課題として、防災教育を取り上げることで、総合的な学習の時間を活用した指導計画を作成可能 (小・中・高・特)

(展開例) 「土砂災害から身を守ろう」(P68) 「地震災害から身を守ろう」(P70)

上に加え、「救急救命活動」「ボランティア活動」等を取り入れて計画を作成

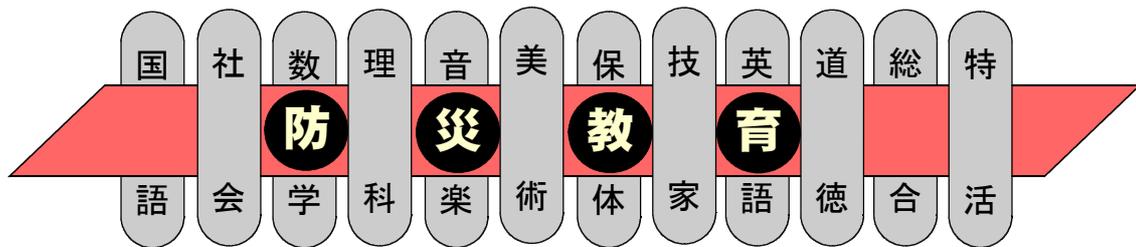
学習指導要領等における「防災」に係る主な指導内容

		健康			
幼稚園		<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。 ・災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにするための訓練なども行う。 			
		教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
小学校	特別	<p>生活科1, 2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の様子、安全な登下校 ・地域での関わりと安全な生活 ・公共物や公共施設の安全な利用 <p>社会3, 4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における災害及び事故の防止 <p>社会5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源の働き及び自然災害の防止 ・情報化社会と生活の関わり <p>社会6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体や国の政治の働き <p>理科5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流水の働き ・天気の変化 <p>理科6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地のつくりと変化 <p>体育5, 6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがの防止と簡単な手当 	<p>道徳1, 2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全 ・生命を大切に <p>道徳3, 4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやり、進んで親切にする ・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切に <p>道徳5, 6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の支え合いへの感謝 ・自他の生命の尊重 ・集団や社会での役割の自覚 ・働くことの意義を理解 ・社会奉仕の心 	<p>学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活や学習への適応及び健康安全 <p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康安全・体育的行事 ・安全な行動 ・規律ある集団行動の体得 ・責任感や連帯感の涵養 ○遠足・集団宿泊的行事 ・公衆道徳の望ましい体験 ○勤労生産・奉仕的行事 ・ボランティア活動等、社会奉仕の精神の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> ・横断的、総合的な課題 ・地域や学校の特色に応じた課題 <p>(例)</p> <p>「土砂災害から身を守る」</p> <p>「我が家の防災点検」</p> <p>「地域の人に知らせよう」</p>
中学校	支援	<p>社会(地理的分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害と防災への努力 ・自然災害に応じた防災対策の重要性 <p>理科(第2分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地の成り立ちと変化 ・気象とその変化 ・自然と人間 <p>保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害への備えと安全な避難による傷害の防止 ・応急手当の適切な実施 	<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かい人間愛の精神 ・人々の善意や支えへの感謝 ・自他の生命の尊重 ・公德心及び社会連帯の自覚 ・集団の意義についての理解 ・公共の福祉と社会の発展 ・地域の一員としての自覚 ・高齢者への尊敬と感謝 	<p>学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適応と成長及び健康安全 <p>生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動への参加 <p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康安全・体育的行事 ・安全な行動 ・規律ある集団行動の体得 ・責任感や連帯感の涵養 ○旅行・集団宿泊的行事 ・公衆道徳の望ましい体験 ○勤労生産・奉仕的行事 ・ボランティア活動等、社会奉仕の精神の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> ・横断的、総合的な課題 ・地域や学校の特色に応じた課題 <p>(例)</p> <p>地域の防災活動に参加しよう</p> <p>山口県の活断層調べ</p>
高等学校	校	<p>地理歴史(地理A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と防災 <p>理科(科学と人間生活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然景観と自然災害 <p>理科(地学基礎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変動する地球 <p>理科(地学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の概観 ・地球の活動と歴史 ・地球の大気と海洋 <p>保健体育(保健)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の手順と方法、心肺蘇生 		<p>ホームルーム活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適応と成長及び健康安全 <p>生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動への参加 <p>学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康安全・体育的行事 ・安全な行動 ・規律ある集団行動の体得 ・責任感や連帯感の涵養 ○旅行・集団宿泊的行事 ・公衆道徳の望ましい体験 ○勤労生産・奉仕的行事 ・ボランティア活動等、社会奉仕の精神の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> ・横断的、総合的な課題 ・地域や学校、生徒の実態に応じた課題 <p>(例)</p> <p>災害発生時のボランティア活動</p> <p>防災に関わる職業について</p>
防災対応能力の育成					

4 防災教育の進め方

(1) 日常の授業における実践

防災教育は、学習指導要領に基づいた指導内容を中心に行うことが基本ですが、防災に特化した指導内容を設定されていない教科等においても、日常の教科の学習に防災の観点から指導内容・方法に工夫を加えることで、新たな時間を設定して行わなくても充実を図ることができます。



このように、防災教育は教育活動全体を通して取り組むことが大切です。各学校の状況に応じ、下に示した「防災教育推進のポイント」や本書の実践等を参考にしながら、児童等の防災対応能力育成に向け、より一層のお取組をお願いいたします。

防災教育推進のポイント

① 地域の特徴に応じて進める



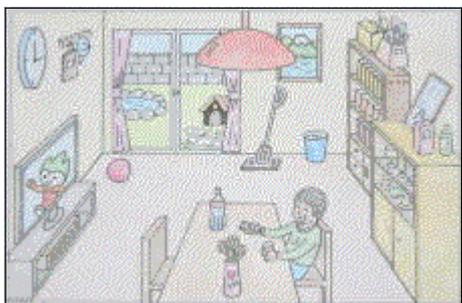
津波、高潮、水害、土砂災害など、地域の特徴に応じた災害を教材化する

② 防災の専門家による指導を取り入れる



県市町の防災担当課などの専門家から地域の防災活動などについて話を聞く

③ 危険予測学習 (KYT) を活用する



イラストや写真を用いて、危険な場所や危険を防ぐ行動について話し合う

④ 情報ネットワークを活用する



国県市町などの災害情報ネットワークに実際にアクセスして情報を活用する

⑤ 地域の防災文化を伝承する



宇部市教育委員会蔵

地域の過去の災害の歴史について被災者に聞いたり、記念碑を調べたりする

⑥ 体験的な学習を活用する



地域の地形や防災施設などを見学したり、校内や自分の家の危険度を調べたりする

⑦ 地域の防災活動と連携する



地域の自主防災訓練や総合防災訓練に、積極的に参加する。

⑧ 家庭、地域の意識を高める



学校での取組を家庭や地域に公開したり、保護者とともに学べる場を設定する。

(2) 発展的な実践

専門家による指導を取り入れたり、地域の防災活動と連携したりすると、防災教育の一層の充実を図ることができます。

この場合、各教科等の防災に関する内容を合科的・関連的に指導したり、下記のように総合的な学習の時間を活用したりするなど指導方法を工夫して取り組みます。

□ 総合的な学習の時間を活用した「防災教育プログラム」

学習指導要領では、総合的な学習の時間の充実も求められており、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習活動、地域の人々の暮らしなど地域の特色に応じた課題についての学習課題などを行うよう示しています。

各地域の防災に関する効果的な教材を活用し、総合的な学習の時間において、十分に時間をかけて総合的な防災教育プログラムに取り組むことも効果的です。



海水淡水化装置による飲料体験



地域の活断層の巡検